



第8号 ご挨拶

中国市場の攻略のため、外資系企業は、以前から様々な取組みを継続・強化し続けています。競争が激しく、変化が著しく、難易度も高いこの市場で成果をだすためには、中国現地のマネジメントだけでなく、日本本社でのマネジメントも、その特殊性を十分に理解することが重要です。現地の動向や志向を理解した上で、速やかに経営判断を下し、リスクを分散させつつ、個々の事業をスピード感を以って確実に前に進めていく必要があります。各社独自の情報網でインテリジェンスの収集に努めていることと思いますが、今回からシリーズで紹介する「中国で事業展開するグローバル企業」では、外資系企業の中国事業責任者へのインタビューを掲載しています。インタビュー当時から少し時間が経っているものの、今でも事業の実例として役立つ情報がありますので、是非、ご一読ください。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

1. 中国で事業展開するグローバル企業：中国の都市化への対応

グローバル企業が特定の地域やマーケット・セグメントのためにどのような戦略を考えているかをみると、「1つではない中国」という考え方がはっきりと分かります。また中国の大手企業も同様の方法を取っています。中国の成熟都市での製品販売は欧米と大きく変わらないと考えますが、新興都市で成功するためには、強力な流通モデルが重要であることを強調しています。グローバル企業の本社所在国の担当者の目には、中国はひとまとまりの国に見えるかもしれませんが、実は多様な地域と文化が集まった国です。そして、各地域が中規模の新興国ほどの経済規模を持っています。世界中にある自社の各拠点において、これらの大きさを理解しておくことが、戦略的成功を収めるためには不可欠です。

本レポートに掲載されている、CBRE グループ（商業不動産サービス）やユナイテッド・テクノロジーズ（UTC）等の中国事業責任者へのインタビューでは、2 級都市、3 級都市へのアプローチ戦略や、人材確保等についての両社の取組みが紹介されています。

> [全文はこちら](#)（日本語訳：みずほチャイナマンスリー2015年1月号 P.11～18に掲載）

2. 変化し続ける破壊的テクノロジー（第 2 部） - イノベーションの融合が拓く新潮流

世界レベルで加速するテクノロジー・イノベーションにより、創造的破壊とも言えるインパクトが消費者向け分野でも法人向け分野でも急速に拡大しています。

消費者向け分野では、クラウド、IoT（モノのインターネット）、モバイル、データアナリティクスなどの最先端テクノロジーの恩恵により、顧客にとって利便性が格段に向上しているだけでなく、日常生活における新たな方法・手段・価値が生み出され続けています。

一方、テクノロジー・イノベーションの加速に伴って、個別分野のイノベーションの創造力のみならず、複数の最先端テクノロジーを機動的に統合する力量が企業のポジショニングや競争力を左右する時代となっています。そうした環境の下、企業経営においては、人材、ビジネスモデル、テクノロジーを三位一体として新たな戦略を策定し、一貫した投資を行えるかどうか極めて重要になっています。本レポートが、破壊的テクノロジーの利活用による新たな価値の創造や、事業変革を進める際の一助となれば幸いです。

> [全文はこちら](#)（日本語）

【ご案内】RPA セミナー： デジタルレイバー(AI、RPA)の活用による業務改革（3月23日 in 上海）

RPAは、既存のアウトソーシングやシェアードサービス及びIT導入の取組みを大幅に発展させるものです。日本企業の親会社だけでなく、複数拠点で同じような機能を持っている中国子会社にとっても、現状のオペレーションのあり方を今一度見直し、業務効率化とコスト削減が実現できる可能性が大いにあります。本セミナーで、最先端の取組みについてご説明させていただきます。RPAは、小さくはじめることが出来るという点で、アメリカ及び日本で注目を集めています。

> [セミナー案内とお申込み](#)（日本語訳）

Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+862122122247)（日本語）